

令和5年度(令和6年度実施)事務事業評価

事業整理番号 0805 - 09

事務事業名 臨時保育所運営経費	担当組織 子ども家庭部	保育課
-----------------	-------------	-----

事業特性										
事業開始年度	30年度以前	事業終了年度		計画ノ一般	一般	計画事業No.				
単独ノ補助	区単独事業	運営形態	全部業務委託	関連するSDGsゴール		4	8	11		
事業を構成する予算事業	①	臨時保育所関係経費			②					
	③				④					
	⑤				⑥					

政策体系(令和5年度基本計画)			
地域づくりの方向	子どもを共に育むまち	政策	子ども・子育て支援の充実
施策	保育施設・保育サービスの充実【重点】	政策番号	4-2-2
関連する個別計画		計画策定年度	計画期間

1. 事業の概要・指標の達成状況										
(1)実施の対象(具体的に記載)	1歳児から3歳児までの入所児童及びその保護者									
(2)事業の目的・期待する効果	待機児童対策施設として、認可保育施設へ申し込みをしたものの、内定が決まらなかった方を対象とした事業を実施することで、保護者の就労時間の確保及び待機児童ゼロを実現する。									
(3)事業概要	増大する保育需要に対応し、待機児童ゼロを維持するため、待機児童対策施設として千早臨時保育所の運営を委託する。									
(4) 目標の達成状況	5年度の取組内容 5年度に実施した具体的な業務内容	1歳児から3歳児までの待機児童の保育業務を委託し、保育を実施した。								
	成果指標 事業目標の達成度	成果指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)	
	①	待機児童数	→	人	0	0	0	100.0	0	
	②									
	③									
	指標の説明	令和5年度待機児童数ゼロ達成。								
達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由								
(5) 取組実績	活動指標 事業の実施状況	活動指標	目指す方向性	単位	4年度(実績)	5年度(計画)	5年度(実績)	(達成率)	6年度(計画値)	
	①	千早臨時保育所定員数	→	人	30	25	25	100.0	21	
	②									
	③									
	指標の説明	希望した園に入園出来なかった児童(1歳児～3歳児)が入所する待機児童施設。								
	達成状況	達成	未達成または一部未達成の理由							

2. 事業費の推移								
単位		4年度		5年度			6年度	
(金額の項目:千円 人数の項目:人)		予算	決算	予算	決算	執行率	予算	増減 (R5決算比)
事業費	A	77,056	70,102	78,220	59,300	75.8%	58,184	-1,116
財源内訳	国、都支出金	0	0	0	0		50	50
	使用料・手数料	0	0	0	0		0	0
	地方債・その他	2,879	957	960	2,306		1,302	-1,004
一般財源	C=A-B	—	69,145	—	56,994		56,832	-162
正規職員人数※小数点第1位まで		0.3	名	0.3	名		0.3	名
会計年度人数※小数点第1位まで		0.0	名	0.0	名		0.0	名

3. 総合評価及び令和6年度以降に向けての対応・改善策

(1)令和5年度成果と課題	【指標の達成状況(a)】 →S、A、B、C、Dの5段階で評価	B	根拠	待機児童数ゼロを達成したため。																																				
	※上記の達成状況を踏まえ、評価及びその根拠を記載してください。 ※以下の欄には、①目標に対する成果結果の課題、②指標以外の数値では測れない効果について記載してください。																																							
①目標に対する成果状況を踏まえた課題 委託料の算定方法が定員数に基づいているため、定員を下回る在園児数が続いた場合の費用対効果が低いこと。開設以降保育施設が増加したことで、在園児が減少していること。																																								
②指標に表れない事業の成果(指標以外の成果) 定員を下回る在園児数ではあるが、入園が決まらなかった待機児童の保育業務を委託し、保育を実施した。																																								
(2)業務(事務)改善に向けての取り組み	【業務(事務)改善に向けての取組み(b)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	B	根拠	在園児数の減少に伴い、定員数の見直しを行い、委託料の削減を行っているため。																																				
	※下の確認事項の内容を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※昨年度に何らかの対応、改善を行い、事業を大きく前進させる成果があった場合のみ「S」評価としてください。																																							
	①目標に対する成果状況を踏まえた課題(再掲) 委託料の算定方法が定員数に基づいているため、定員を下回る在園児数が続いた場合の費用対効果が低いこと。開設以降保育施設が増加したことで、在園児が減少していること。																																							
	②現状の実施状況における所管課の認識																																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。</td> <td>有</td> <td>選択した理由</td> <td>開設以降、区内に保育施設が増加し、待機児童数ゼロを達成している。</td> </tr> <tr> <td>直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。</td> <td>無</td> <td>選択した理由</td> <td></td> </tr> <tr> <td>サービスに係るコストは適正か</td> <td>不適正</td> <td>選択した理由</td> <td>在園児数が定員を下回っているため。</td> </tr> <tr> <td>統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。</td> <td>無</td> <td>(有の場合)事業名</td> <td></td> </tr> </table>					事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択した理由	開設以降、区内に保育施設が増加し、待機児童数ゼロを達成している。	直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	無	選択した理由		サービスに係るコストは適正か	不適正	選択した理由	在園児数が定員を下回っているため。	統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																					
事業の中に環境変化に合わなくなったものはあるか。	有	選択した理由	開設以降、区内に保育施設が増加し、待機児童数ゼロを達成している。																																					
直営や委託等の様々な手法を比較検討しているか。	無	選択した理由																																						
サービスに係るコストは適正か	不適正	選択した理由	在園児数が定員を下回っているため。																																					
統合した方が効率的にできる可能性のある事業はあるか。	無	(有の場合)事業名																																						
③上記①、②を踏まえた所管課の対応実施状況																																								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>対応、改善を既に行った</td> <td>はい</td> <td>はい</td> <td>取組内容及び効果</td> <td>定員数及び委託費の削減</td> <td>予算措置</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td colspan="7">はい・いいえどちらも (はいの場合は更なる対応・改善の予定)</td> </tr> <tr> <td>対応、改善の予定</td> <td>無</td> <td>無</td> <td>対応、改善の予定がない理由</td> <td colspan="3">段階的に定員数及び委託費の削減を実施済みのため。</td> </tr> <tr> <td>有</td> <td>対応、改善の内容</td> <td></td> <td>予定時期</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>予算措置</td> <td>有</td> <td>予算措置を伴わない実施との比較検討</td> <td></td> <td>予算措置を伴う理由</td> <td></td> </tr> </table>					対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	定員数及び委託費の削減	予算措置	有	はい・いいえどちらも (はいの場合は更なる対応・改善の予定)							対応、改善の予定	無	無	対応、改善の予定がない理由	段階的に定員数及び委託費の削減を実施済みのため。			有	対応、改善の内容		予定時期					予算措置	有	予算措置を伴わない実施との比較検討		予算措置を伴う理由		
対応、改善を既に行った	はい	はい	取組内容及び効果	定員数及び委託費の削減	予算措置	有																																		
はい・いいえどちらも (はいの場合は更なる対応・改善の予定)																																								
対応、改善の予定	無	無	対応、改善の予定がない理由	段階的に定員数及び委託費の削減を実施済みのため。																																				
有	対応、改善の内容		予定時期																																					
	予算措置	有	予算措置を伴わない実施との比較検討		予算措置を伴う理由																																			
(3)必要性/優先度	【区が実施する必要性(c)】 S、A、B、Cの4段階で評価 →	B	根拠	区独自の待機児童対策施設として一定の役割を果たしているため。																																				
	※下の確認事項を踏まえ、齟齬がないよう評価及び根拠欄を記載してください。 ※「区の他の事業より注力すべき事業」または「区民ニーズが大幅に増加している」の場合のみ「S」評価としてください。																																							
	①区が実施する理由(複数選択可)																																							
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック</td> <td><input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。</td> <td>その他(理由)</td> </tr> </table>					<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。	<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)																																
<input type="checkbox"/> 区の他の事業より注力すべき事業である。 ※部の主要課題のうち、特に優先すべき事業の場合チェック	<input type="checkbox"/> 法律の要請を受けて行う事業である。																																							
<input type="checkbox"/> 民間事業者等に同様のサービスがない。	その他(理由)																																							
②区民ニーズ																																								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>区民ニーズを表す指標</td> <td>有</td> <td>有</td> <td>指標番号(成果)</td> <td>①</td> <td>指標番号(活動)</td> <td>①</td> <td>サービス利用者数</td> <td>50名未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>推移</td> <td>→</td> <td>推移</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="9">有・無どちらも</td> </tr> <tr> <td>区民ニーズに対する認識</td> <td colspan="8">在園児数は定員に対して少ないが、待機児童対策施設として一定の役割を果たしている。</td> </tr> </table>					区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	①	指標番号(活動)	①	サービス利用者数	50名未満				推移	→	推移	→			有・無どちらも									区民ニーズに対する認識	在園児数は定員に対して少ないが、待機児童対策施設として一定の役割を果たしている。							
区民ニーズを表す指標	有	有	指標番号(成果)	①	指標番号(活動)	①	サービス利用者数	50名未満																																
			推移	→	推移	→																																		
有・無どちらも																																								
区民ニーズに対する認識	在園児数は定員に対して少ないが、待機児童対策施設として一定の役割を果たしている。																																							
総合評価(d) = a + b + c		ランク3																																						

4. 【前年度事務事業評価対象事業のみ】改善に向けた取組内容について

(前年度事務事業評価表) 4「所管課の認識・R5年度以降の対応」を記載	
上記の改善に向けて取り組んだ内容を記載(未着手の場合には理由を記載)	

改善に向けた取組内容についての自己評価 (e)		根拠	
-------------------------	--	----	--

5. 令和6年5月末時点の状況

① 令和6年度当初の課題・ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・開設時と比較して、保育施設が増加したことで、利用者数は減少傾向。 ・令和6年度定員数21名。5月時点で在園児は5名で、定員数を下回っている状況。 ・建物の修繕費用の発生可能性(開設から10年以上経過のため)
② 国・都の動き(関係法令の改正・補助金の創設・方針の変更など)	<p>区独自の認可外保育施設。</p> <p>令和8年度に本格実施予定の「子ども誰でも通園制度」等、多様な制度・保育ニーズへの対応に活用できる可能性がある。</p>
③ 令和6年度の方向性・取組方針(事業展開)	待機児童の状況、児童の在籍状況や近隣保育施設の状況など、当該施設に係る事項を定期的に把握し、事業のあり方を検討する。また、委託事業者との連携も密に行い、適切な事業運営を確保する。
④ 令和6年度の事業進捗状況	運営の委託を行っている。5月時点の在園児5名。
⑤ 区民等からの事業に対する意見・要望	—
⑥ 上記⑤に対する対応	—

-----以降の項目は、評価内容を踏まえて管理職が記載してください-----

今後の事業費予算要望 (f)	減額	根拠	在籍状況等を踏まえ、定員のさらなる見直しも含めた事業のあり方を検討するため。
----------------	----	----	--

今後の事業の方向性(d+e+f) (現状の評価および施策評価を踏まえた評価)	B	※eは該当の事業のみ加味
---	---	--------------

上記判断と今後の事業の方向性を踏まえ、令和6年6月以降に向けての対応を記載(改善方法、課題への対応など)

待機児童の状況、直近の在籍状況や近隣保育施設の状況など、様々な観点を踏まえ、事業のあり方を検討する。安定して保育を提供できるよう、委託事業者との連携も密に行う。